

琉球大学学術リポジトリ

モリゴキブリモドキ *Blattella biligata* (Walker, 1868)

(ゴキブリ目：チャバネゴキブリ科：チャバネゴキブリ亜科)の波照間島からの初記録

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2020-12-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大北, 祥太郎, 柳澤, 静磨, Ohgita, Shotaro, Yanagisawa, Shizuma メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/47429



モリゴキブリモドキ *Blattella biligata* (Walker, 1868) (ゴキブリ目: チャバネゴキブリ科: チャバネゴキブリ亜科) の波照間島からの初記録

大北祥太郎^{1,3}・柳澤静磨²

¹ 〒631-8505 奈良県奈良市中町 3327-204 近畿大学大学院農学研究科環境管理学専攻

² 〒438-0214 静岡県磐田市大瀬 320-1 磐田市竜洋昆虫自然観察公園

³ 通信著者 (burimodoki@gmail.com)

要旨．先島諸島波照間島から初記録となるモリゴキブリモドキ *Blattella biligata* (Walker, 1868) を記録した．本記録の標本は，サトウキビ畑や小・中学校の校庭などで確認された．

はじめに

モリゴキブリモドキ *Blattella biligata* (Walker, 1868) は東アジア，東南アジア，南アジア，中央アジア，アジア西部，東アフリカ，中央アフリカ，南アフリカに分布するゴキブリ目チャバネゴキブリ科チャバネゴキブリ属のゴキブリである (旭ら 2016)．日本では西表島から1雄のみの記録がある (朝比奈 1979)．今回，筆者らは沖縄県先島諸島波照間島にて多数のモリゴキブリモドキを採集したため同島初記録としてここに報告する．

記録

Blattella biligata (Walker, 1868)

モリゴキブリモドキ

(図 1-3)

採集標本．3雌，2019年8月27日，沖縄県波照間島，大北祥太郎 採集．1雄15雌5幼虫，2019年12月27日，沖縄県波照間島，柳澤静磨 採集．大北の採集した標本は大北が保管し，柳澤の採集した標本は国立科学博物館 (NSMT-I-Dct-521-541) に保管されている．

形態．雄 (n=1) 全長 16.5 mm，体長 14.2 mm，前胸背板 (横×縦) 4.0×3.2 mm，翅長 14.0 mm；雌 (n=3) 全長 14.3-16.0 mm，体長 10.5-13.9 mm，前胸 4.0×3.0 mm，翅長 11.8-14.0 mm；卵鞘 (n=1) (横×縦) 6.0×3.0 mm．

雄成虫，雌成虫共に全体が淡い橙色をしており，目立った模様はない．雄成虫の腹部背面第7腹節 (図 2) には1対の凹陷と中央に毛叢がある．雄の肛上板は半円状で，12節の尾肢を1対持つ (図 3A)．肛下板は左右不相称で，1対の尾突起を持つ (図 3B)．雄交尾器の生殖鉤は丸く曲

がっている (図 3C)．終齢幼虫は，頭部は黒色で上端に橙色の半円状の模様がある．胸部は黒色．腹部は黒色，肢は黄色である．胸部および腹部側縁は半透明の明るい橙色．前・中・後胸の中央部に明るい橙色の太い縦帯があり，腹部第1背板から第4背板にかけて二叉する．卵鞘は明るい橙色で長方形をしている．

採集状況．主に採集地はサトウキビ畑や小・中学校の校庭など，開けた草原のような環境であった (図 4)．昼は枯死した植物や石の下にて発見され，夜間は活発に動く姿が確認された．採集地点では本種のほかに，ウスヒラタゴキブリ *Megamareta pallidiola* (Shiraki, 1906) やリュウキュウゴキブリ *Pycnoscelus indicus* (Fabricius, 1758) も得られたが，個体数は本種が最も多かった．

経緯．2019年8月27日に主著者の大北が波照間島での生物調査の際，3個体 (成虫2個体，幼虫1個体) のチャバネゴキブリ科のゴキブリ類を採集した．その場では同定ができず，持ち帰り飼育を行ったところ，2019年9月18日に幼虫が羽化した．前胸背板に黒帯状紋がないことや，幼虫時の色彩からモリゴキブリモドキと考えられたが，3個体とも雌であったため確実な同定を行うことができなかった．

その後，柳澤が2019年12月27日に波照間島での追加調査を行ったところ，多数の雌成虫，幼虫が得られた．採集時は雄成虫が得られなかったため，採集した幼虫を生体で持ち帰り，25-27°Cで飼育したところ，1か月ほどで羽化がはじまり雄成虫が得られた．

今回得られた複数の個体を検したところ，1) 前胸背板に黒帯状紋がないこと，2) 腹部背面第7腹節 (図 2) に1対の凹陷と毛叢があること，3) 雄の生殖鉤が丸く曲がった鉤状を呈していること (図 3C) などが朝比奈 (1979) や Roth (1985) に示されたモリゴキブリモドキの特徴とよく一致していたため，本種であると同定した．

備考．本報告で得られたモリゴキブリモドキは，主に乾燥した草地やサトウキビ畑で確認された．国外においても本種は，同様の環境に生

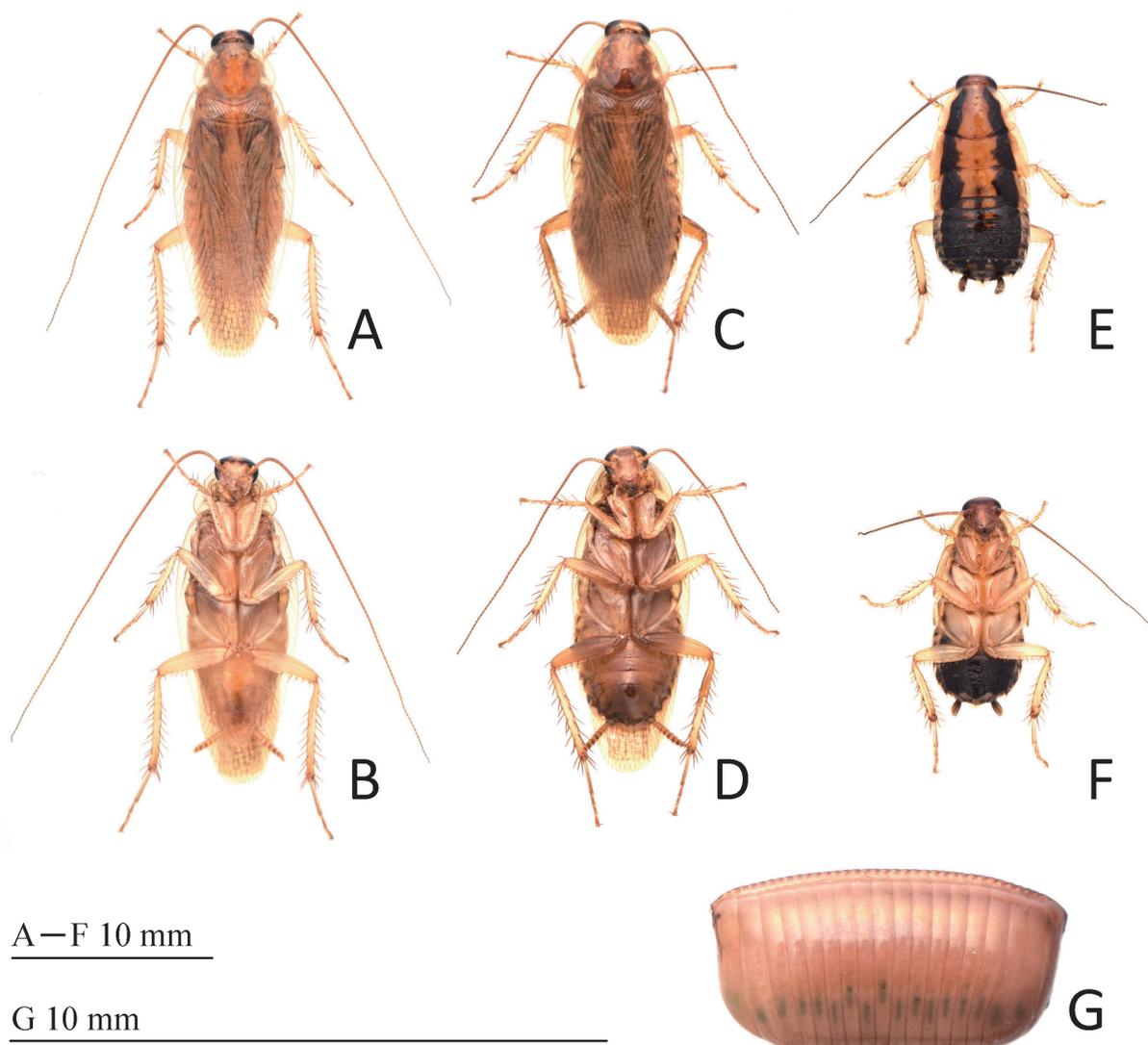


図 1. 波照間島で得られたモリゴキブリモドキ . A, 雄個体背面 (NSMT-I-Dct-521). B, 雄個体腹面 (NSMT-I-Dct-521). C, 雌個体背面 (NSMT-I-Dct-522). D, 雌個体腹面 (NSMT-I-Dct-522). E, 幼虫背面 (NSMT-I-Dct-523). F, 幼虫腹面 (NSMT-I-Dct-523) . G, 卵鞘 .

Fig. 1. *Blattella biligata* (Walker, 1868) from Hateruma-jima Island. A, dorsal view of male specimen (NSMT-I-Dct-521); B, ventral view of male specimen (NSMT-I-Dct-521); C, dorsal view of female specimen (NSMT-I-Dct-522); D, ventral view of female specimen (NSMT-I-Dct-522); E, dorsal view of nymph specimen (NSMT-I-Dct-523); F, ventral view of nymph specimen (NSMT-I-Dct-523); G, ootheca.

息することが報告されている (Boyer & Rivault, 2004). 波照間島では夏季 (8 月) と冬季 (12 月) に終齢幼虫と成虫がそれぞれ多数確認された . 本種の野外における幼虫期間は不明であるが, 屋内飼育実験では, 28°C の環境で平均 76 日であることが報告されている (Boyer & Rivault 2004). したがって, 波照間島では 1 年間に数世代にわたって繁殖していると考えられる .

比嘉 (1998), 三原 (2010), および旭ら (2016) は, 波照間島から 8 種のゴキブリ類を報告しているが, モリゴキブリモドキは含まれていない . 本種の成虫は, 日本産チャバネゴキブリ属にみられる前胸背の黒紋が存在しないため, 他種と

混同されてきた可能性がある . 今後の調査では, 他の離島からも見つかるかもしれない .

本種はこれまで, 国内では西表島で採集された 1 匹の雄が知られているのみである (朝比奈 1979, 1991; 旭ら 2016). したがって, 国内では 2 例目の報告となるとともに波照間島では初の記録となる .

謝辞

採集に関して波照間小中学校の吉武美岐氏, 近畿大学大学院農学研究科の早坂大亮准教授, 沢島拓夫准教授, 藤本将徳氏, 中森拓也氏に多大なるご協力をいただいた . また, 国立科学博物



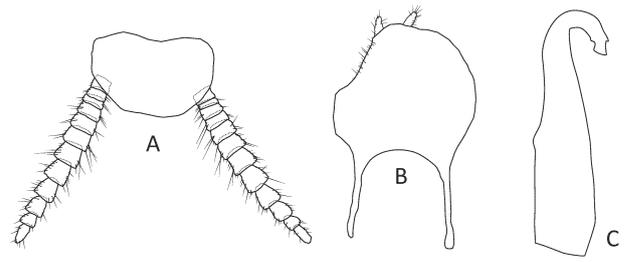
5 mm

図2. モリゴキブリモドキ腹部第7背板 (NSMT-I-Dct-521).

Fig. 2. Abdominal tergite 7 (NSMT-I-Dct-521) of *Blattella biligata*.

館の清拓哉氏には標本の受け入れについてご助力いただいた。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

引用文献



A, B 1 mm
C 1 mm

図3. モリゴキブリモドキ A-B, 雄個体腹部末端, 生殖器 (NSMT-I-Dct-521). A, 肛上板. B, 肛下板. C, 生殖鉤.

Fig. 3. *Blattella biligata* A-B, male abdominal end, genitalia (NSMT-I-Dct-521). A, supra-anal plate; B, subgenital plate; C, phallomeres.

旭和也・遠藤拓哉・小松謙之, 2016. ゴキブリ目. 日本直翅類学会 (編), 日本産直翅類標準図鑑. Pp. 206-227, 学研プラス, 東京.

朝比奈正二郎, 1979. 日本産ゴキブリ類分類ノート XI. モリゴキブリ群の種類, I. 衛生動物 30: 217-235.



図4. 波照間島でモリゴキブリモドキが採集された環境.

Fig. 4. Collection site of *Blattella biligata* on Hateruma-jima Island.

[記録] 大北・柳澤: モリゴキブリの波照間島からの記録.

- 朝比奈正二郎, 1991. 日本産ゴキブリ類. 中山書店, 東京.
- Boyer, S. & C. Rivault, 2004. Life history traits of cockroaches in sugar-cane fields in La Réunion (Blattodea: Blattellidae and Blaberidae). *Oriental Insects* 38: 373–388.
- 比嘉ヨシ子, 1998. 波照間島の小動物. 沖縄県立博物館 (編), 波照間島総合調査報告書 — 自然・歴史・民俗・考古・美術工芸 —. Pp32–64, 沖縄県立博物館, 沖縄.
- 三原實, 2010. 日本産ゴキブリ目の種目録. *有害生物* 7: 78–89.
- Roth, L. M., 1985. A taxonomic revision of the genus *Blattella* Caudell (Dictyoptera, Blattaria: Blattellidae). *Entomologica Scandinavica Supplement* 22: 1–221.

New distributional record of *Blattella biligata* (Walker, 1868) (Blattodea: Ectobiidae: Blattellinae), from Hateruma-jima Island, Ryukyu Archipelago, southwestern Japan

Shotaro Ohgita^{1,3} & Shizuma Yanagisawa²

¹Graduate School of Agriculture, Kindai University, 3327-204 Nakamachi, Nara 631-8505, Japan.

²Ryuyo Insect Nature Observation Park, 320-1, Oonakaze, Iwata. Shizuoka, 438-0214 Japan.

³Corresponding author (burimodoki@gmail.com)

Abstract. *Blattella biligata* (Walker, 1868) is newly recorded from Hateruma-jima Island, Ryukyu Archipelago, southwestern Japan. The specimens collected in this study were found in sugarcane fields and elementary and junior high school yards.

投稿日 : 2020 年 5 月 31 日
受理日 : 2020 年 11 月 11 日
発行日 : 2020 年 12 月 4 日